



6月定例会では、児童・生徒の安全に関わる問題と政治倫理問題について質問しました。

学校建物の安全

保育園、小学校、中学校の建物について、耐震診断や耐力度調査などの安全度をチェックする検査の実施状況や、建て替えや補強事業の計画などを聞いたところ、教育長は、「建物安全検査は平成11年と16年に一部実施しているが、それ以降新規には、やっていない。現状、安全面で補強工事や建て替え工事の必要性はあるが、学校統合との整合性、財政状況等を勘案しながら早急に対処したい」と答弁しました。

生徒の安全を重視している教育行政とは言えず、統合を言い訳にして長い期間建物の安全が放置されています。

※安住注 耐震診断は対象建物14棟中3棟、実施率21.4%、県内20自治体等中18位。耐震化実施は0棟、20位。

◇人事

4月 監査委員(代表) (新)岡田一 (辞任)寺坂邦雄

5月 監査委員(議選) (新)南肇 (辞任)安住仁志

6月 副町長 (就任)石谷雅文66歳

安住ひとしが目指す智頭町

- 一、町民が主人公。町長、町議は町民全体の奉仕者の町
- 一、町民の健康とくらしの安心をなによりも大切にする町
- 一、子育てをしやすい町
- 一、弱い者をしっかりと守る町
- 一、文化と歴史を誇れる町

裁判取り下げ

また、政治倫理においては、改めて寺谷町長に、自身が被告となった裁判の取り下げについて、町民へ説明するよう要求しました。安住は、町民に損害を与えた事件の責任の有無を明確にすることは逃げられないことであり、裁判の取り下げの理由が「議会の議決を尊重した」というものでは町民は納得できないと考えます。せめて事後説明でも町民に向かって説明するように求めました。

安住「町民は説明を求めています」

町長「議会の議決を尊重した。町政に専念しろということ。町民の声も同様だ」

と従来 of 主張を繰り返しました。

補正予算で…（裁判関連費用）

町は訴訟委託料として80万円を計上した。これは途中解約となり、弁護士と協議の上、成功報酬の8割相当額を支払うことになったためです。

◎満天 星の懺悔録◎

昨年、ドウダンまつりのカラオケ大会出場についてのことです。

実行委員会「1曲歌いませんか」

安住「ハイ。歌います。いくらですか」

実行委員会「1曲1000円だが、1

口カンパも頼みます」

（安住は合計4000円支払った）

まつりの当日、安住は1曲歌ったが、大会プログラムに名刺広告が載っているのに気づいた。この名刺広告が警察に告げられ、安住は事情を聴かれることとなりました。

警察「寄付行為は公職選挙法に抵触するので、今後は気をつけるように！」
この件について安住は議会での1年間に何回も経緯を質され、「常日頃、法令遵守を叫ぶ者が法令違反はケシカラン」と非難を浴びております。誠に申し訳ありません。ここに懺悔いたします。